

第1回

千葉氏サミット

●千葉氏首長フォーラム

テーマ「月星でつながるまちの絆～地域の資産から日本の遺産へ～」

■パネリスト

- ・勝部 修(一関市長)
- ・大橋 信夫(涌谷町長)※①
- ・佐藤 栄喜(相馬市生涯学習部長)
- ・桜井 勝延(南相馬市長)
- ・蕨 和雄(佐倉市長)
- ・小坂 泰久(酒々井町長)※②
- ・菅澤 英毅(多古町長)※③
- ・岩田 利雄(東庄町長)
- ・日置 敏明(郡上市長)※④
- ・江里口 秀次(小城市長)※⑤

■コーディネーター

- ・熊谷 俊人(千葉市長)

※印の自治体は資料あり

■平成28年8月21日(日)

■三井ガーデンホテル千葉

① 涌谷町資料(別添)

※資料(ガイドマップ)は本冊子とは別に添付してあります。

② 酒 々 井 町 資 料

月星でつながるまちの絆

～地域の資産から日本の遺産へ～



第1回千葉氏サミット ～千葉氏首長フォーラム～

平成28年8月21日

酒々井町長 **小坂 泰久**



国指定史跡 本佐倉城跡（城山郭）



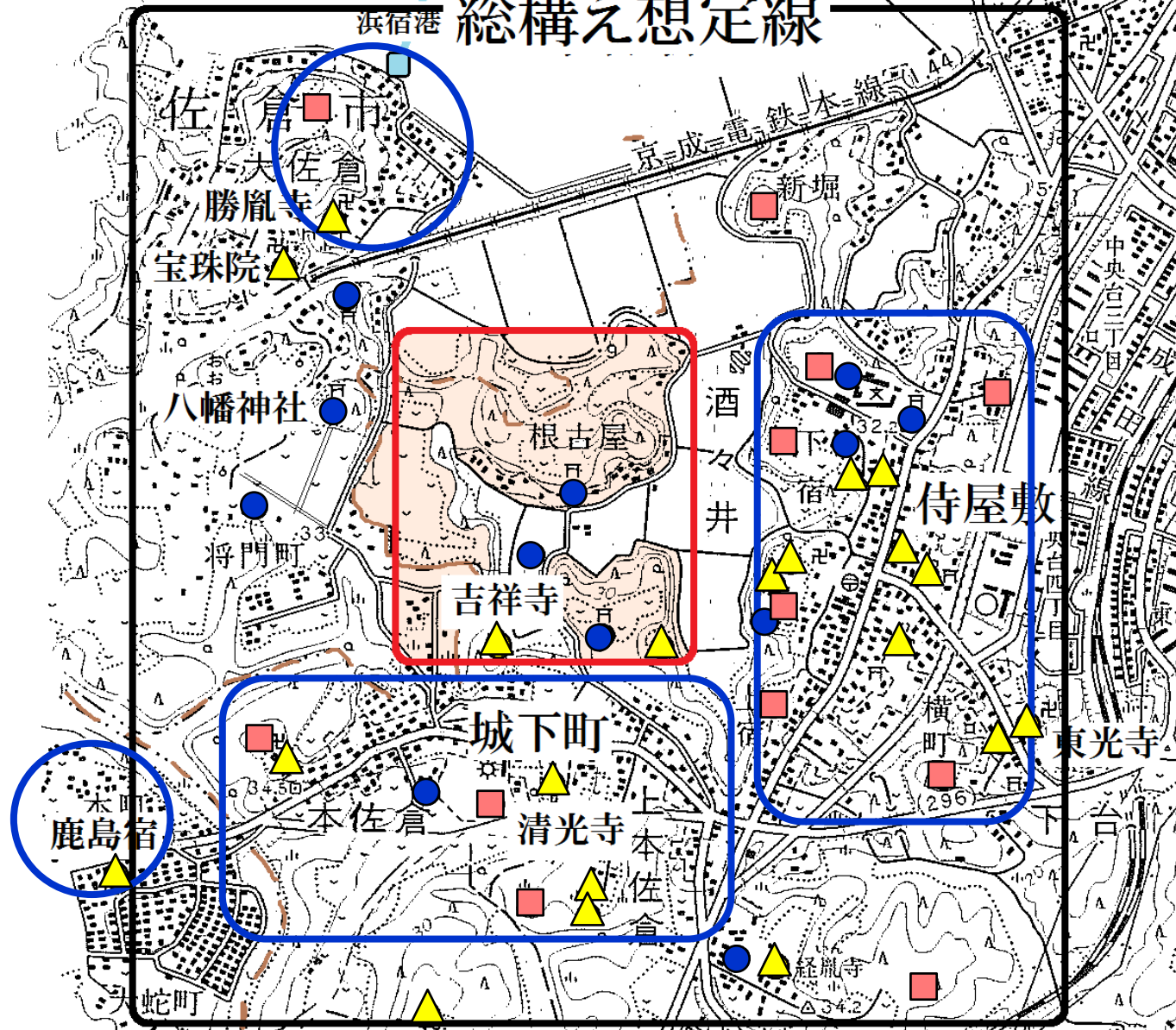
戦国時代の千葉氏の本拠地「本佐倉城」

（この地図は、財団
使用しています。）



旧印旛沼

総構え想定線

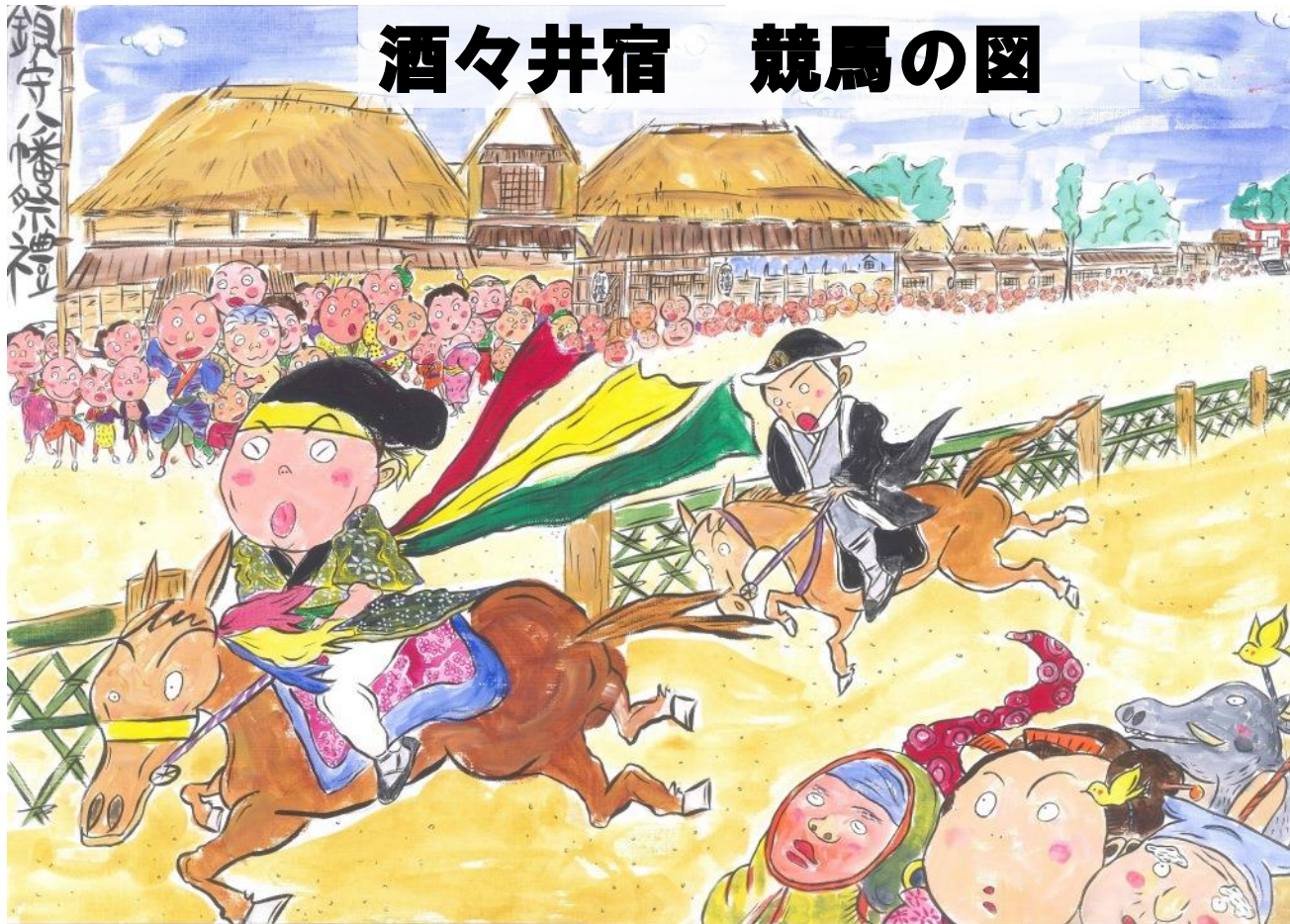


千葉氏の野馬牧と徳川幕府野馬会所

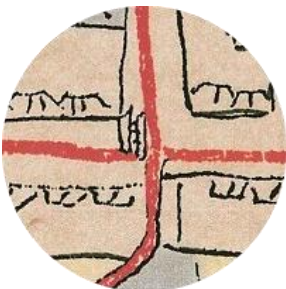
野馬会所



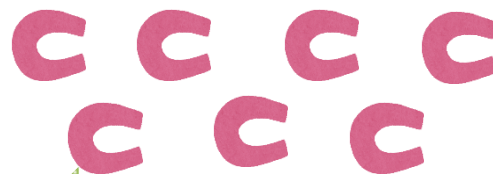
佐倉七牧位置図



至 成田



高札場



二丁(約200m)



八坂神社

酒々井村町屋絵図
(江戸末期)

千葉氏まつりとその復活



伝説がよみがえる

酒々井

千葉氏

Shisui Chibashi Matsuri 2016

まつり

酒々井にはかつて

千葉氏の居城(国指定史跡「本佐倉城跡」や野馬会所(馬市場)があり、戦国時代から明治時代まで盛大な祭りが行われていました。人馬が道を埋め尽くすほどの賑わいであったという伝説の祭りが、百余年の時を経て現代によみがえります。

とき
10/2
10:30~16:00

ところ
中央台公園
中央公民館
千葉県印旛郡酒々井町
中央台4丁目

主催 酒々井・千葉氏まつり実行委員会

後援 酒々井町／酒々井町教育委員会
協賛 株式会社 広域高速ネット二九六

③ 多 古 町 資 料

「千葉氏首長フォーラム」

多古町における千葉氏との関わり及び多古町の紹介

〈町の紹介〉

多古町は、千葉県の北総台地の東側に位置し、面積は 72.80 k m² を有し、県内町村の中では 2 番目の広さを誇ります。現在、人口は 1 万 5 千人余りで、山林や田畑が広がるのどかな町です。町の中央部には栗山川が流れ、その流域は、食味日本一にも輝いたことのある「多古米」の一大産地となっています。

また、栗山川の両岸に植えられた約 1 万株のあじさいが咲き誇る初夏には町の花“あじさい”をテーマに「ふるさと多古町あじさい祭り」が盛大に開催され、町外からも多くの観光客が訪れています。

自然と文化、歴史に恵まれた多古町は、成田国際空港の隣町にあつてやすらぎを覚える過ごしやすい町です。

現在は、町中心部にある新住宅地の整備が進み、町外からの移住者も増えつつある中、公共交通や交通インフラの整備強化を推し進めています。

そのほか、衣食住や観光、交流、文化、自然に関わる地元の様々な有志団体が町の発展をめざして盛んに活動し、活気ある街づくりが展開されており、まちの将来像「人・文化・自然みんなでつくる潤いのまち多古」に向かって官民一体となつてまい進しているところです。

〈千葉氏との関わり〉

千葉氏一族の勢力が下総一帯に及んでいた中世、多古は千葉氏の荘園「千田荘」の中心地でした。

① 建武期の争乱の舞台

千田大隅守胤貞が千田荘を支配していた元弘・建武の頃。1333（元弘 3）年の北条氏滅亡を契機に、1335（建武 2）年頃、千葉氏一族間（胤貞と貞胤の主権争い）でも争乱が起こり、土橋城（多古町御所台）周辺を中心に千田荘も戦乱の舞台となっています。胤貞側の並木城（多古町南並木）も 1336（建武 3）年この争乱により落城しています。

② 日蓮宗との関わり

千田胤貞が治政していたこの時期、日本寺（多古町南中）を開山して 1319（元応元）年に初代貫主となる日祐（1298 年生）は、多古栗山川辺りで胤貞と出会い説法を唱え日蓮宗に皈依させています。その後、胤貞の養子として迎えられ、中山法華経寺 3 世（1314 年）として布教教化活動を展開し、千葉氏の権力を背景に、胤貞の氏寺

である真言宗の巨榮山徳成寺をはじめ20か寺以上を日蓮宗に改宗させています。

③ 千葉氏宗家滅亡の地

室町時代中期、千葉氏宗家胤直は、鎌倉公方足利氏と関東管領上杉氏との内紛を契機とした千葉氏一族間の争いに巻き込まれます。1455（康正元）年、原胤房に千葉城を急襲され千田荘に逃れてきた胤直は志摩城（多古町島）に、子の胤宣は多古城で防戦しましたが落城し、胤宣は多古城近くの阿弥陀堂で自害、胤直は東禅寺（多古町寺作）に逃れたが一族郎党と共に自害しました。胤直は42歳、胤宣は15歳の若さでした。東禅寺境内の西側墓地に胤直らの墓が7基並んでいます。

④ 郡 上 市 資 料

岐阜県 郡上市

面積 1030.75 km²

人口 42,094 人 (H27年国調速報値)

長良川の源流域 [木曽川、庄川、
九頭竜川の
源流域も]



世界農業遺産認定 清流長良川の鮎

～里川における人と鮎のつながり～



長良川における、人の生活、水環境、漁業資源が生み出す『里川』のシステムが世界に認められ、平成27年12月15日、世界農業遺産に認定されました！

※ 世界農業遺産とは、イタリア・ローマに本部を持つ「国連食糧農業機関（FAO）」が、伝統的な農業、文化風習、生物多様性などの保全を目的に2002年に開始した認定制度です。

白山ユネスコエコパーク

～人と自然が紡ぐ地域の未来～

平成28年3月20日ペルーのリマで国連教育科学文化機関(ユネスコ)の
会合が開かれ、白山ユネスコエコパークの拡張登録が承認されました。

ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパーク(正式名:生物圏保存地域)とは、貴重な自然環境を守りながら、それを持続可能に活用している地域を、国際的なモデル地域として認定するものです。日本では、白山を含め7地域が登録されています。

白山ユネスコエコパークのエリアには勝山市をはじめ、大野市、富山県南砺市、石川県白山市、岐阜県高山市・郡上市・白川村の4県7市村が含まれています。

長良川鉄道 観光列車「ながら」



1号車「森」



外観

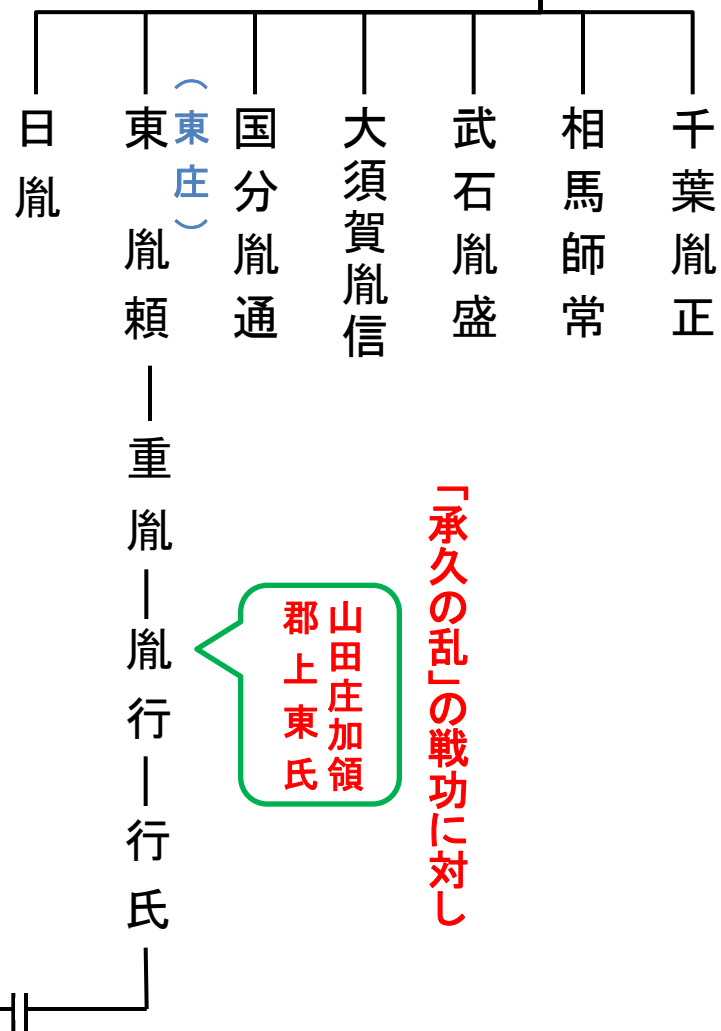


2号車「鮎」



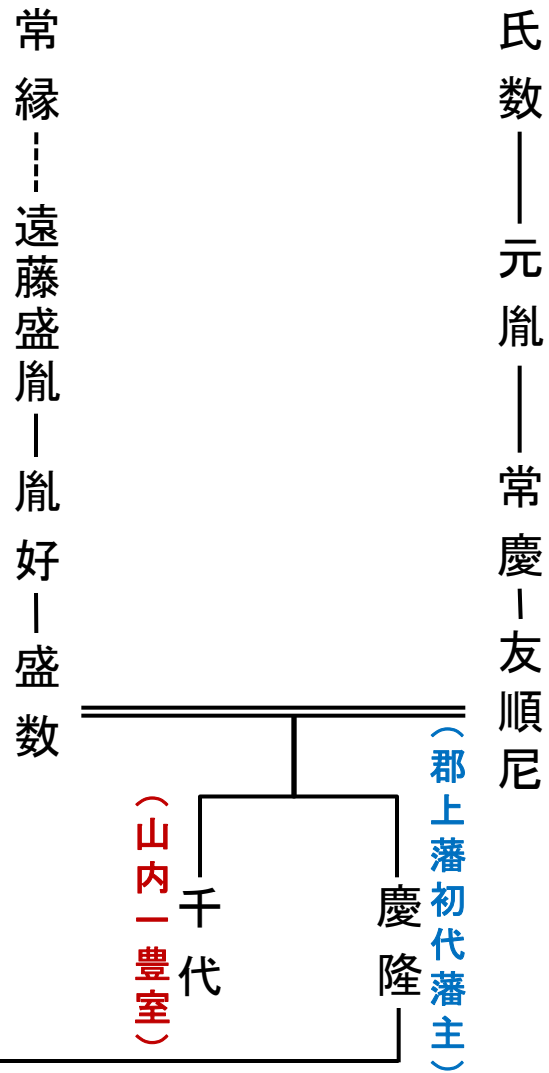


千葉常胤



益之

(古今伝授の祖)



昭和54年 東氏館跡庭園の出現



9代目 東常縁



東氏の文化遺産



篠脇山・山城跡

東氏の文化遺産



明建神社（妙見宮）

東氏の文化遺産



七日祭（八月七日）

東氏の文化遺産



馬場跡

東氏の文化遺産

千人塚



昭和63年 薪能「くるす桜」初演





平成5年 古今伝授の里フィールドミュージアム開園



さまざまな文化の催し



歌となる言葉とかたち

さまざまな文化の催し



ゆきばた椿まつり

さまざまな文化の催し

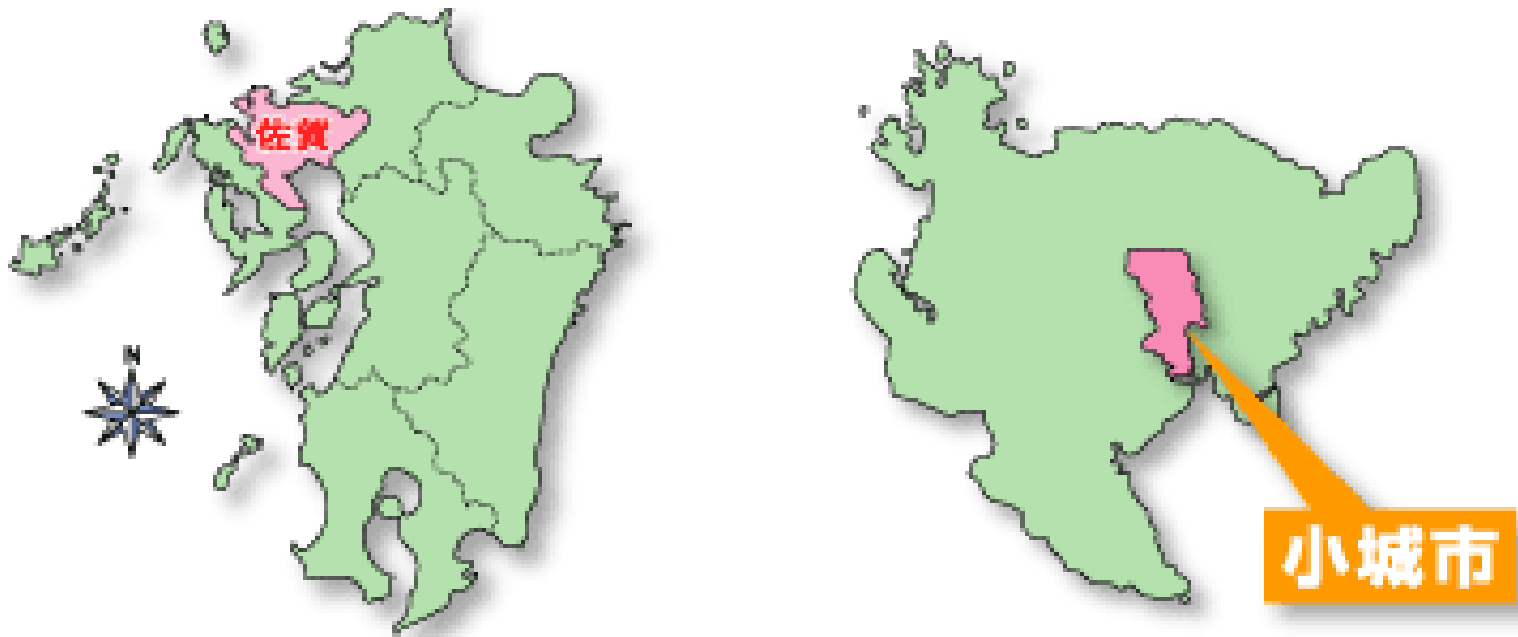


古今伝授の里・現代短歌フォーラム

⑤ 小 城 市 資 料

肥前小城(佐賀県小城市)

■小城市の位置■



佐賀県の小城(おぎ) 市ってどこ？
→福岡県と長崎県の間佐賀県の中央



小城市

H17. 3小城郡内 4 町
合併で小城市誕生

人口：45,659人

(H28. 7末 住基)

面積：95.81km²

市の花：さくら

市の木：桜

特産品：羊羹・



米・大豆・海苔

小城町

三日月町

牛津町

芦刈町



小城のまちを空から



小城のまち 千葉胤貞の下向



千葉胤貞像 光勝寺

千葉宗胤は頼胤の子で、頼胤が蒙古との合戦で傷を負い、小城で死去したのを期に小城に下向した。宗胤は千葉氏の惣領であったが、弟の胤宗に千葉の所領を任せている。宗胤は九州千葉氏の祖、胤宗は関東千葉氏の祖といわれる。

宗胤の死後、子の胤貞が小城に下向し、小城のまちづくりを行った。

千葉氏のまちづくり



禪宗寺院円通寺

再興

千葉城 築城

妙見社 建立

祇園社(須賀神社)

造営 山挽き開始

松尾山光勝寺建立

千葉から 鍋島へ

小城鍋島家屋敷
が桜岡に作られ、
城下町が形成さ
れた。

小城鍋島家初代
元茂が江戸時代
の初めに戦乱に
より荒廃した千
葉氏の町を上
町・中町・下町
として作り直し
た。

中世：千葉氏によるまちづくり

千葉城

祇園社

上町

中町

町人町の形成

下町

近世：小城鍋島家によるまちづくり

● 小城鍋島家屋敷

● 小城公園

城下町の形成

JR小城駅

小城は ・ ・



- 中世から近世、近代への町の移り変わりを実感できるまち。
- 歴史と文化が引き継がれ、まちづくりの礎となっているまち。

千葉城から小城の町並みを望む



祇園社(須賀神社)



700年続く祇園山挽き

九州の小京都小城へ お越し下さい



ご清聴ありがとうございました